

連続セミナー

# 2016年の論点

—いま、私たちが考えるべきこと—

5/26 木 | 加藤千洋 (現代中国社会・メディア論) [司会] 藤原辰史 (農業史)  
18:30~ | 日中関係とメディア報道—「中国の脅威」は虚か、実か?—

6/9 木 | 山室信一 (法政思想連鎖史) [司会] 岩城卓二 (日本近世史)  
18:30~ | “自民党改憲草案”を読む—いかなる「立憲主義」なのか?—

6/30 木 | 立木康介 (精神分析) × 田中祐理子 (哲学) [司会] 小関 隆 (イギリス・アイルランド近現代史)  
18:30~ | 「ひとはなぜ戦争をするのか」の人間学—平和をいかに構想するか?—

京都大学人文科学研究所本館4階 大会議室

| 予約不要 | 聴講無料 |

# 「2016年の論点」

「変えなくてはいけない、変わらなくてはならない」——時代が大きく動いており、私たちはそれに対応しなくてはならない、そのような言葉が声高に叫ばれています。ならば、いま何が課題であり、これにどう向き合うのか、私たちはきちんと問い直すべきでしょう。この連続セミナーでは、東アジア情勢、立憲主義、戦争／平和論という三つの角度から、「いま私たちが考えるべきこと」に取り組みます。考え、学び、いまこそ語りたい言葉を探しましょう。

## 〔講演者〕



### 加藤千洋 (かとう・ちひろ)

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授。前・朝日新聞記者。  
専門：現代中国社会研究、中国メディア研究  
主な著書：  
『胡同の記憶』  
(2003年、平凡社。2012年、岩波現代文庫)



### 山室信一 (やまむろ・しんいち)

京都大学人文科学研究所教授  
専門：法政思想連鎖史  
主な著書：  
『憲法9条の思想水脈』  
(2007年、朝日新聞出版)



### 立木康介 (ついき・こうすけ)

京都大学人文科学研究所准教授  
専門：精神分析、フランス現代思想  
主な著書：  
『狂気への愛、狂女への愛、狂気のなかの愛—愛と享楽について精神分析が知っている二、三のことがら』(2016年、水声社)

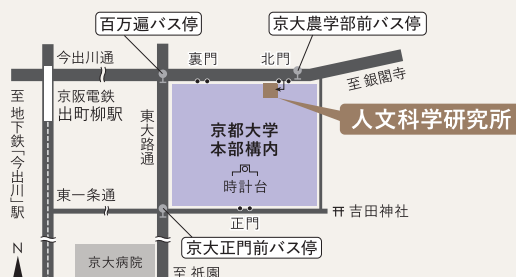


### 田中祐理子 (たなか・ゆりこ)

京都大学人文科学研究所助教  
専門：哲学、科学思想史  
主な著書：  
『科学と表象—「病原菌」の歴史』  
(2013年、名古屋大学出版会)

## 〔司会〕

- 5月26日 藤原辰史 京都大学人文科学研究所准教授／専門：農業史
- 6月9日 岩城卓二 京都大学人文科学研究所准教授／専門：日本近世史
- 6月30日 小関 隆 京都大学人文科学研究所教授／専門：イギリス・アイルランド近現代史



●京阪電鉄「出町柳駅」下車徒歩15分  
●市バス 3・31・65・201・206系統「百万遍」下車徒歩4分／17・203系統「京大農学部前」下車徒歩1分  
いずれも京都大学北門入ってすぐ右 ※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい

## 予告

### ●公開合評会 第一次世界大戦を考える

#### アフリカを活用する フランス植民地からみた第一次世界大戦

講師 | 平野千果子 / 小川 了 / 小野容照  
日時 | 5月28日(土) 14:00~18:00

#### ナイチンゲールの末裔たち— 〈看護〉から読み直す第一次世界大戦

講師 | 荒木映子 / 井野瀬久美恵 / 小関 隆  
日時 | 7月23日(土) 14:00~18:00

◎会場はともに京都大学人文研本館セミナー室